



日本飛行機株式会社

環境・社会報告書

ENVIRONMENTAL AND SOCIAL REPORT

2016



ごあいさつ



代表取締役社長

小島 俊文

「環境・社会報告書2016」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は大手外国自動車メーカーの排ガス試験の不正問題がありました。今年になってからは同様の問題が国内自動車メーカーにおいても発生し、会社存続の危機にまで発展していることは皆様ご承知の通りであります。この問題の本質には企業の社会的責任(CSR)に対する認識の甘さがあったものと考えられます。

川崎重工グループの一員である当社の事業目的は「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する」ことであり、カワサキグループ・ミッションステートメントにも掲げられている通り、社会的責任を認識し地球・社会・地域・人々と共生することがグループ経営の原則となります。

当社は来期からはISO14001(2015年版)を適用した環境方針のもと、資源・エネルギーの有効利用、環境負荷の軽減等の実現を目指すことで、企業活動と環境の調和に今後とも努めてまいります。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

環境方針

基本理念

日本飛行機株式会社は、航空宇宙の分野で製造と整備を核に高品質の製品・サービスを社会に提供する専門企業である。当社は、地球環境問題が次世代以降にも及び社会構成員総てに関わる最重要課題の一つであることを認識し、持続発展可能な社会の構築に向けて、あらゆる面で地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する。

基本方針

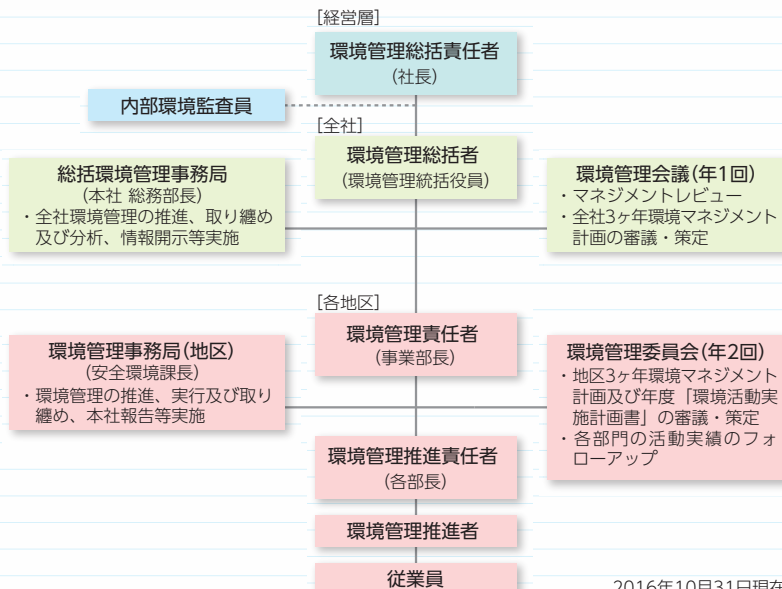
1. 製品の研究、開発、設計、製造、修理を中心とした事業活動が地球環境に与える影響を的確に捉え、使用資源・エネルギーの有効利用、環境汚染物質並びに廃棄物の分別・処理の適切な管理及び削減を通じて地球環境の保護と地球環境汚染の予防に努める。
2. 事業活動に当たっては、環境に影響を及ぼす活動、製品及びサービス(以下、環境側面と呼ぶ)に関連する国際条約、法律、規則及び協定等を遵守する。
3. 全社の環境側面並びに法的要求事項等から環境目的及び環境目標を定め、定期的に見直すことにより、継続的に環境保全活動の質の向上を図る。
4. 環境教育により社員及び当社のために働くすべての人の環境保全活動に対する理解と、環境に関する意識向上を図る。
5. 環境保全などの活動に地域社会の一員として積極的に参加すると共に社員及び当社のために働くすべての人の参加を推奨し、支援する。
6. この環境方針を実行し、維持すると共に社員及び当社のために働くすべての人に周知する。
また、この方針は外部からの要求に応じ随時提供できるものとする。

体制

私たちは「環境管理総括責任者」(社長)をトップとした体制を構築し、環境負荷軽減に向けた取り組みを推進しています。

会社全体としては、「環境管理総括者」(担当役員)を議長とする「環境管理会議」を毎年開催しています。3ヶ年活動実施計画の策定及び評価を行い、運用状況をチェックすることによって、環境負荷軽減に向けた仕組みが効果的に機能している事を確認しています。

また横浜と厚木の両地区は、「環境管理責任者」(事業部長)を議長とする「環境管理委員会」を開催し、年間活動実施計画の策定及び評価、法令遵守状況の監視等を行う事によって、地区における環境保全活動を推進し、環境負荷の軽減に取り組んでいます。





取締役(環境管理総括者)

中家 稔之

「環境・社会報告書2016」の発行にあたり、環境管理総括者として、一言ご挨拶申し上げます。

今年も8月後半以降、台風が毎週のように我が国に上陸し、北海道・東北地方に大きな水害を発生させました。ここ数年、過去に類を見ないような大雨による被害が報じられるとともに、たびたび「記録的短時間大雨情報」が発令され、地球温暖化による気候変動が、我々の身近な問題として現実のものになっていることを痛感させられます。

このような環境下、当社も「持続発展可能な社会の構築に向けて、地球環境の保全に配慮した事業活動を実施する」という基本理念の下、資源・エネルギーの有効利用、事業活動における環境負荷の軽減、廃棄物発生抑制等を図り、企業活動と環境の調和に継続的に努めております。

当社の活動内容を本冊子に簡潔に纏めておりますので、是非ご一読の上、当社の活動にご理解をいただくとともに、皆様からのご意見をお聞かせいただければ幸いです。

活動の状況

地域社会との関わり 各地区における工場周辺の環境美化を目的に、清掃活動として工場周辺・一般道やその周辺のゴミ拾いを実施しました。

近隣地域の清掃等をやる事により、地域社会への貢献と、改めて“分別・削減・マナーの向上”について従業員一人ひとりが自覚し、身の回りから地球環境への意識向上に心掛けております。

横浜地区工場周辺の清掃活動

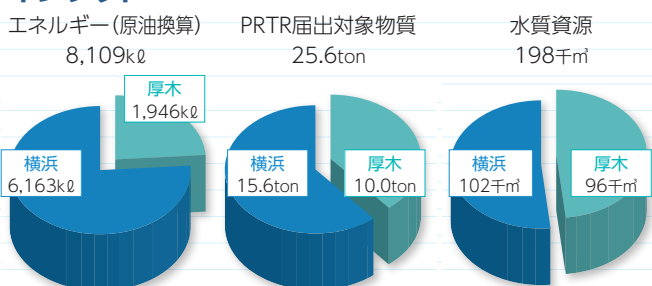


厚木地区工場周辺の清掃活動



事業活動による環境負荷

インプット



アウトプット

		横浜地区	厚木地区
大気放出	CO ₂	12,320 ton	3,982 ton
	PRTR届出対象物質	7.3 ton	6.0 ton
廃棄物	一般廃棄物	23.4 ton	84.0 ton
	産業廃棄物	632.5 ton	168.0 ton
	特別管理産業廃棄物	148.0 ton	4.0 ton
水系排出	下水	42.0 千㎡	31.0 千㎡
	河川等	43.0 千㎡	65.0 千㎡
	COD *1	1未満 ton	1未満 ton
	BOD *2	— ton	1未満 ton

*1 化学的酸素要求量 *2 生物化学的酸素要求量

地区別活動報告

横浜地区

(本社、航空宇宙機器事業部)



【所在地】神奈川県横浜市金沢区昭和町3175

【土地面積】151,575㎡

【事業内容】航空機部分品、標的システム、ロケット部分品、宇宙機器の製造

●主な環境活動内容

実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	0.283kℓ/百万円以下	0.275kℓ/百万円
一般廃棄物の削減	2009年より運用管理に移行済み	
汚染防止のための設備更新	3件	2件

厚木地区

(航空機整備事業部)



【所在地】神奈川県大和市草柳2-28

【土地面積】73,860㎡

【事業内容】航空機の修理、整備及び改造

●主な環境活動内容

実施項目	目標	実績
エネルギー原単位の削減	0.435kℓ/百万円以下	0.386kℓ/百万円
一般廃棄物の削減	2013年より運用管理に移行済み	
汚染防止のための設備更新	0件	1件

環境活動 / 社会貢献

【厚木地区】

厚木地区では、ボイラー排熱を利用する省エネ装置「エコノマイザー」を導入しました。ボイラーに供給される水を事前に暖める事により、設定温度までのボイラの稼働時間が少なくてすむ事が利点です。(エネルギー消費の削減)



【エコノマイザー装置とボイラー】



天井照明のLED化を実施しました。スイッチ回路を細分化し、小まめな消灯により電気使用量を削減します。

【全社】

社会貢献活動の一環として世界の子供達にワクチンを提供するエコキャップの回収活動を行っています。社員の環境保護、リサイクルに対する意識向上を図り、ワクチン寄贈団体への寄付による社会貢献を行っています。



【回収BOX】

関連業界や地域からの情報 苦情及び法令遵守状況

2015年4月～2016年3月の期間中では、行政機関からの依頼、近隣住民より以下のような苦情がありました。その他、法令違反、行政処分はありませんでした。

- 厚木地区に関して神奈川県より、光化学オキシダント緊急時措置、VOC排出量削減対策の依頼がありました。関連部署に対してVOC排出量の低減処置及び健康配慮措置の対応を行いました。
- 厚木地区の近隣住民より大和市役所へ、エンジン作業の騒音に関する通報連絡がありました。当社では深夜にエンジンを稼働しての作業及び騒音を伴う業務がない事を大和市役所に対して報告しました。
- 厚木地区の近隣住民より落葉に関する要望を受けました。落葉について外部清掃を行い、落葉が減少するよう高木処理を計画し実行致します。今後も法令を遵守し、地域環境に配慮した事業活動を推進してまいります。



日本飛行機株式会社

〒236-8540 神奈川県横浜市金沢区昭和町3175
TEL: 045-773-5100 FAX: 045-773-5102

<http://www.nippi.co.jp>

※本書の内容は弊社のホームページでもご覧頂けます。



本報告書の印刷・製本に要した消費電力約15kWhは、すべて風力発電によるグリーン電力でまかっています。



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C081701



P14F0061401A
この印刷物は、リサイクル印刷版を使って印刷しています。



本書掲載データは、2015年4月～2016年3月を対象としています。